

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名		豊かな出会いでにぎあうまち		施策番号・名		18 地域産業の振興		基本事業番号・名		18-03 生業としての農業環境の維持							
事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)			
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
18-03-01	産業振興課	対象	農業者及び農地・農業に関わる 市民・農業委員	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	農業委員会事務	手段	農業委員16名により「東久留米市 農業推進計画」の基本目標を推進する。	16 (人)	委員定数	12 (回数)	総会開催数	100 (%)	9,405	12,110	21,515	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
		意図	都市農業をどのようにして守っていく かが、首都圏では重要な課題である。 農地の持つ多面的機能を、農業者及び 市民に認識させる。	16 (人)		12 (回数)		100 (%)	9,665	11,865	21,530	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	縮小	効率的な事務の執行に努め、事務経費等の縮小を図る。	
				16 (人)		12 (回数)		100 (%)	9,405	11,832	21,237						
18-03-02	産業振興課	対象	農業委員会会長	平成21年度				平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目
	農業委員会 会長交際事業	手段	農業委員会会長の交際費用	0 (円)	必要となった 交際費用	0 (回数)	交際費を要する 会議・交流会の 回数	0 (%)	0	0	0	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
		意図	各農業組織との情報交換は不可欠 である。	0 (円)		0 (回数)		0 (%)	0	0	0	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	農業委員会の代表として各種農業団体の会議 に出席し、情報交換や他団体との交流を深める ことができ、その必要性は高い。	
				0 (円)		0 (回数)		0 (%)	0	0	0						
18-03-03	産業振興課	対象	農業者・市民	平成21年度				平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目
	農業委員会だより 発行事業	手段	農業者の情報誌を発行	340 (戸)	農家戸数	1 (回数)	農業者世帯への 配布率	100 (%)	43	302	345	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
		意図	市の農業行政及び農業委員会活動等の 情報を農業者に伝える。	340 (戸)		1 (回数)		100 (%)	23	296	319	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	農政改革により農地法等の改正がある場合 や、農業委員会の活動計画など、農業者への重 要な情報を周知する手段として定着している。	
				349 (戸)		1 (回数)		100 (%)	42	295	337						
18-03-04	産業振興課	対象	農地・農業に関わる市民	平成21年度				平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目
	東京都農業会議 参画事業	手段	農業委員及びその職員に対する研修	340 (戸)	農家戸数	25 (件)	参加した研修等の 件数	90 (%)	403	1,513	1,916	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
		意図	都市農業の推進	340 (戸)		25 (件)		407	1,483	1,890	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	都市農業の育成は行政の役割であり、それ に携わる職員等の研修は必要不可欠である。 農業生産力の向上及び農業経営の合理化、後 継者や認定農業者の育成など、東京都農業会議 の果たしている役割は大きく、賛助会員として 加入することは意義がある。		
				349 (戸)		25 (件)		411	1,479	1,890							
18-03-05	産業振興課	対象	東久留米市農業振興協力員	平成21年度				平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目
	農業に関する調査事業	手段	農業委員選挙人名簿の申請・回収。 農家アンケート・その他農業情報に 係る資料を配布。	12 (人)	協力員数	3 (回数)	名簿等の回収率	100 (%)	139	100	239	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	産業振興課 小山輝男		
		意図	市における農業振興の円滑な推進を 図るための調査やアンケートを行う 場合、協力員を依頼する。	12 (人)		2 (回数)		100 (%)	208	98	306	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	毎年12月に選挙管理委員会へ農業委員会 委員選挙の名簿を提出する依頼がされ、短期 間で配布・回収を行うためには、人的な面で 協力員に依頼することが必要不可欠である。	
				12 (人)		2 (回数)		100 (%)	199	98	297						

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎあうまち

施策番号・名 18 地域産業の振興

基本事業番号・名 18-03 生業としての農業環境の維持

事務事業番号	所管課係名		事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)					
	事務事業名	対象		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
18-03-06	産業振興課	対象	農政事務職員	平成21年度	3 (人)	平成21年度	10 (回)	平成21年度	10 (回)	平成21年度	73	平成21年度	3,633	平成21年度	3,706	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	農政事務連絡会議 参画事業	手段	農業行政事務	平成20年度	3 (人)	平成20年度	10 (回)	平成20年度	10 (回)	平成20年度	77	平成20年度	3,559	平成20年度	3,636	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 産業振興課 小山輝男	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	他自治体等との情報交換は不可欠	平成19年度	3 (人)	平成19年度	10 (回)	平成19年度	10 (回)	平成19年度	60	平成19年度	3,549	平成19年度	3,609	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	農政事務を行うにあたって、必要不可欠な会議等である。	農政に関する国や東京都の制度説明、農地法等の法制度改正、農政に関する各種調査など、農政事務を処理するための情報収集に必要となっている。	
18-03-07	産業振興課	対象	農業関連団体	平成21年度	9 (団体)	平成21年度	20 (回)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	1,110	平成21年度	605	平成21年度	1,715	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	農業関係団体活動支援 事業	手段	各業種の組合等に補助金の交付をする。	平成20年度	7 (団体)	平成20年度	21 (回)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	1,168	平成20年度	593	平成20年度	1,761	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 産業振興課 小山輝男	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	各業種の農業者1人1人が研修・講習会に参加し、農業技術の向上等を図る。	平成19年度	9 (団体)	平成19年度	20 (回)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	1,168	平成19年度	591	平成19年度	1,759	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	東久留米市の農業を発展させるためには、各農業団体の育成が不可欠である。	各農業団体の育成、発展などの観点から農業連絡協議会に引き続き支援を行っていく。	
18-03-08	産業振興課	対象	農業者	平成21年度	27 (戸)	平成21年度	149 (戸)	平成21年度	27 (戸)	平成21年度	300	平成21年度	605	平成21年度	905	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	環境保全型農業推進 支援事業	手段	生分解マルチシート・性フェロモン剤の購入費補助	平成20年度	25 (戸)	平成20年度	134 (戸)	平成20年度	25 (戸)	平成20年度	315	平成20年度	593	平成20年度	908	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	環境にやさしい農業を推進してもらう。	平成19年度	6 (戸)	平成19年度	26 (戸)	平成19年度	6 (戸)	平成19年度	315	平成19年度	591	平成19年度	906	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	市内の農業生産に係る使用済資材の減量化による環境保全型農業の推進と農業生産者の作業効率の向上及び省力化を図る。	環境に配慮した農業経営を取り入れてもらうための誘導策として、ある程度浸透するまでは市において支援を行う必要がある。	
18-03-09	産業振興課	対象	農業委員及び事務局職員	平成21年度	19 (人)	平成21年度	10 (回)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	154	平成21年度	1,513	平成21年度	1,667	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	北多摩地区農業委員会 参画事業	手段	負担金の支出、研修講習会、検討会への参画	平成20年度	19 (人)	平成20年度	10 (回)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	139	平成20年度	1,483	平成20年度	1,622	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 産業振興課 小山輝男	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	農業委員会が円滑に活動できるよう、情報交換・調査研究をし北多摩地区の農業の発展を図る。	平成19年度	19 (人)	平成19年度	10 (回)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	139	平成19年度	1,479	平成19年度	1,618	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	情報交換をすることにより、市内だけでなく、北多摩地区農業全体の発展及び活性化を図る。農業委員会の円滑な運営にも効果。	農業委員会活動を円滑に進めるために、北多摩地区の連合会に加盟し、そこで得られる情報や他団体との交流は必要である。	
18-03-10	産業振興課	対象	東久留米市営農振興会及び果樹組合	平成21年度	3 (団体)	平成21年度	5,000 (袋)	平成21年度	100 (%)	平成21年度	700	平成21年度	242	平成21年度	942	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)	
	有機農業推進支援事業	手段	補助金の交付	平成20年度	3 (団体)	平成20年度	5,000 (袋)	平成20年度	100 (%)	平成20年度	750	平成20年度	237	平成20年度	987	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男	23年度以降に向けた方向性	縮小
		意図	化学肥料を極力おさえ、安心して安全な農産物の供給を図る。	平成19年度	3 (団体)	平成19年度	5,000 (袋)	平成19年度	100 (%)	平成19年度	750	平成19年度	236	平成19年度	986	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	有機堆肥を中心とする土づくりにより土壌の生態系を保持し、より安全な農産物の生産を重視した有機・低農薬農業を育成すること、農薬や化学肥料の使用を減少させることは、市民にとっても新鮮で安心な農産物の供給につながる。	20年度からの新規事業であるので、今後、効果等の推移を見守りながら事業を実施していく。	

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎあうまち

施策番号・名 18 地域産業の振興

基本事業番号・名 18-03 生業としての農業環境の維持

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)							
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)						
18-03-11	産業振興課	対象	東久留米市営農振興会及び果樹組合	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)					
	認定農業者補助事業	手段	補助金の交付	49 (人)	認定農業者数	14 (回)	事業及び視察研修 の実施回数	事業等に参加した 回数	100 (%)	100	1,009	1,109	22年度以降に向けた方向性	現状維持		所管課長名:	産業振興課 小山輝男				
		意図	認定農業者の活動を活性化し、東久留米市の農業振興に寄与する。	49 (人)		3 (回)			100 (%)	100	988	1,088	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし		23年度以降に向けた方向性	現状維持				
18-03-12	産業振興課	対象	市内農家	平成21年度		平成21年度		平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)					
	生産緑地保全整備事業	手段	市内農家に対する、土留工等の基盤整備事業への補助金の交付	1 (団体)	下里・柳窪地区 農地整備組合	3 (戸)	土留工を行う農家 の戸数	当該事業で基盤整備 のできた生産緑地 の面積	36.76 (ha)	3,000	2,016	5,016	22年度以降に向けた方向性			所管課長名:	産業振興課 小山輝男				
		意図	産業として魅力ある企業的農業経営の育成を図り、もって農畜産物の安定供給及び農業経営に資する。																		